

企業紹介

環境に優しい段ボール作りの プロフェッショナル

株式会社 三本紙器

代表取締役 三本 明弘
〒954-0111 見附市今町8-7-2(見附工業団地内)
TEL 0258-66-4877 FAX 0258-66-7142
http://www.mitsumoto-shiki.com

業 種：段ボール製造販売
資 本 金：2,900万円
事業内容：段ボールケース、紙器一般、美粧E段ボール
製造販売

段ボールおよび段ボール製の内装箱や個装箱などを製造する(株)三本紙器。得意とするのは、「Eフルーツ」と呼ばれるシートの厚さ1.5mm程度の段ボール。原紙の仕入れから製品化まで一貫生産しており、同社の持つ優れた印刷技術で難易度の高い小さな文字や網点なども鮮明に映し出す。

新潟県内で唯一、内装用の段ボールを製造

同社は、昭和31年にニット製品を入れる貼り箱メーカーとして創業。その後、段ボール製造に事業を転換。現在では、「Eフルーツ」と呼ばれる段ボールに特化して製造している。

「Eフルーツ」とは、引っ越しなどに使用される一般的な段ボールに比べて、波状の中芯の密度が高く、シートの厚さも約1.5mmと薄い。一方、緩衝性は一般的な段ボール同様に優れており、個々の製品を詰める小型の内装箱や贈答用の個装箱として利用されることが多い。また、近年は立体的に組み立てて緩衝材としての活用も広がっている。

こうした段ボールを取り扱っているのは、県内では同社のみ。依頼を受ける内装箱および個装箱は、食品用や家庭用品用など多種多様で、100%近く受注生産となっている。



▲同社が製造した小型の段ボール箱。小さな文字や網点も鮮明に印刷できる

小さな文字や網点、重ね刷りなども鮮明に印刷

同社の強みは、この段ボールに小さな文字や網点、重ね刷りなどを鮮明に印刷できる高い技術を持っていること。また、原紙の仕入れから製品化までを自社工場で一貫生産しており、原紙は単色から木目調などの模様まで各種常備されている。さらに、納期厳守に対する意識も社内徹底。急な発注に対しても速やかに対応できる体制を整えており、同社では年間を通じて納期に対するクレームはほぼ発生していない。



▲工場には、単色から模様まで各種原紙が揃っている

リサイクル可能な環境に優しい段ボール

段ボールは、軽くて加工しやすく、リサイクルできるため、環境にも優しい。

また、同社が製造する内装箱や個装箱は、商品が入った状態で店頭にも並ぶことも多い。「消費者の目に直接触れる機会が多いので、『段ボール箱も商品の価値を表す一部である』という意識の下、厳正な品質管理を行っています」と三本社長は語る。



▲波状の中芯に片面だけ原紙を貼り合わせた片面段ボール、両面段ボールともに製造可能



▲型抜きや接合も自社工場にて加工。小ロットや急な注文にも対応できる